



東京六本木ロータリー・クラブ

TOKYO
ROPONGI
ROTARY CLUB



平成24年6月18日

卓話 『東京西口一タリー・クラブ
石巻市小学校震災復興への支援』

株式会社 日本カーゴエキスプレス 代表取締役社長

鈴木 隆志 様



みなさんこんにちは。東京西口一タリー・クラブは石巻市で6つの事業をしておりますが、今日は石巻小学校への辞書の寄贈事業を中心にお話しします。

石巻市は宮城県の大きな市で、津波で市街地のほぼ全域が水没しました。海に面した東側と南側の両方から津波を受け、壊滅的な状況でした。世帯数60,928、人口162,822、死亡者が3,280名、539名の行方不明者がいらっしゃいます。

石巻市の悲劇の一つが大川小学校です。同校では全校生徒の7割74名が犠牲になりました。地震発生後、校庭に約40分から50分待機して逃げなかつたということで、マスコミ、地域の批判も沢山ございます。なぜすぐ裏の山に逃げなかつたのかということですが、地域の人に聞くと裏の山は険しくて小学生が登るのは無理だということでした。不幸なことに2階建てで屋上がなかつたので、屋上に逃げるという選択肢もありませんでした。またこの場所が震災の避難地になっています。海から約5kmも奥で、そこが被害を受けるなんて考えられなかったと思います。そんな不幸が重なったことが、この石巻市の小学校を支援しようとを考えた理由でございます。

西口一タリー・クラブでは昨年6月、子どもを目的とした支援活動はないか模索しました。やる以上はなるべく多くの人たちに奉仕の手を伸ばしたいと思い、教育関係の会社を経営する私の友人に相談し、そこからボランティア団体のプロジェクトに話が繋がりました。この団体は東北地方の子どもたちを遊びで支援するという文部省関係のボランティア団体です。石巻市の教育委員

会に打診し、小学校1年生に辞書を寄付しようという流れで進んでおりましたところ、教育委員会の方から、実は毎年、小学校を卒業する6年生の子供たちに英和辞典を贈っているんだけ

ど予算がないというお話をされました。そこで子どもたちが喜ぶのならということで、英和辞典を贈ることも決まりました。

今年の3月、1,426名の小学卒業生に英和辞書を贈呈しました。ちなみに辞書にはすべて西口一タリー・クラブの金の刻印が押してあります。4月には1,099名の新中学1年生に国語辞典と漢字辞典を贈らせていただきました。3月、私と西口一タリー・クラブの中村会長と一緒に学校を訪問し、卒業式の中で、会長から代表の女の子に辞書を渡しています。会長からは「これは英語がとっても好きになる辞書です。いろんなことがありましたか、英語を勉強して世界に羽ばたく人になってください。」と挨拶させていただきました。

今回ご縁があって石巻の約2,500名の子どもたちに笑顔を届けるための事業を行うことができました。東京西口一タリー・クラブの名前はその辞書に書いてあるだけなんですが、いくつかの小学校の卒業生からお礼のメールをいただきました。奉仕の事業に大小、軽重はないと思いますけれども、多くの子供たちに何とか気持ちをお届けできたことは幸運だったと思います。ご静聴ありがとうございました。

